



名城と名湯が息づくまち「松山市」



賤ヶ岳の合戦で有名な七本槍の1人、加藤嘉明が築き始めた歴史をもち、松山市の中心部・勝山にそびえ立つ松山城や、「日本書紀」にも登場するわが国最古といわれる道後温泉など、松山市内には全国、そして世界に誇る観光名所が息づいています。

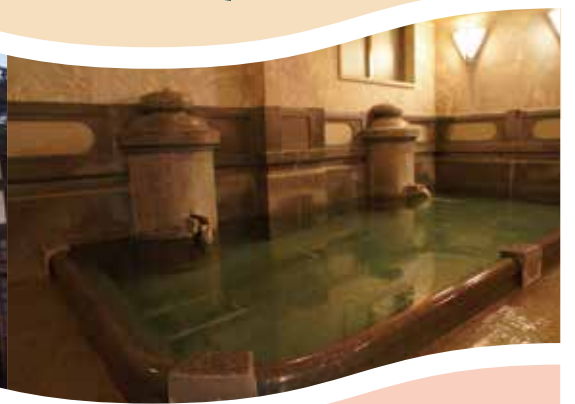
平成最後の大会戦

松山城冬の陣

1月26日(土)～3月10日(日)まで、松山城周辺を舞台として参加料無料のイベントを実施。地図に記された謎の暗号を解読し、松山城周辺に隠された宝箱を探し出す「松山城財宝伝説」や、難攻不落の松山城の仕掛けをリアルに体験できるARアプリ「攻略松山城」など、家族みんなで楽しめるコンテンツが盛りだくさん。ぜひ皆さんお越しください。



詳しくはこちら!



松山市で育まれてきた「餅文化」

松山市では、もち米にうるち米を混ぜてついた米の粒々とした食感が残る「おふく」、砂糖を使わず塩で味付けをした「塩餡餅」、もち米だけを使用した白い丸餅「すや餅」など、多種多様な餅が親しまれています。この他にも「ヨモギ餅」や「キビ餅」、「里芋餅」など、道後平野がもたらす食材を使用した餅があるのが松山市の餅文化の特徴です。

